



2025 年 5 月 22 日

各 位

会 社 名 佐 藤 食 品 工 業 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 上田 正博
(コード 2814 東証スタンダード市場)
問い合わせ先 管 理 部 長 江尻 千徳
電 話 番 号 0 5 6 8 - 7 7 - 7 3 1 6

中期経営計画策定のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026 年 3 月期から 2028 年 3 月期までの 3 年間における中期経営計画（vision 2028）を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 中期経営計画策定の背景

当社は、オンリーワン企業として、既成概念にとらわれず、果敢に新たな技術開発にチャレンジし、失敗から多くのヒントを得て、辛抱強く粘り強く取り組む姿勢のもと、「天然食品の持つ、“風味”を損なうことなく粉末化すること」を目指し、独自の商品開発に取り組んでまいりました。

当社の属する食品業界は、気候変動や天候不順の影響によって水産資源や農産資源を始めとした原材料調達の質・量・価格面で不安定な状況に陥っている他、世界各地の紛争や各国の通商政策がサプライチェーンの混乱や継続的な物価高を招くなど不確実な状況に見舞われております。また、このところの米、野菜などの食料品価格の上昇が家計を圧迫し、消費者の節約志向の高まりにつながるなど厳しい事業環境となっております。

かかる状況のもと当社は、事業環境の変化に柔軟に対応し、安定的かつ持続的な成長を維持することを目的に中期経営計画（vision 2028）を策定いたしました。

2. 中期経営計画の概要

(1) 対象期間

2026 年 3 月期から 2028 年 3 月期までの 3 年間

(2) 中期経営計画（vision 2028）のテーマ

『未来を見据えた技術開発力の底上げ』

～公明正大かつ安全・安心なモノづくりを前提に

製品開発・装置開発・製法開発など技術開発力の向上を図る～

(3) 中期経営計画における重点戦略

1. 製品戦略

- ・独自性、優位性を明確にした新製品開発の徹底
- ・新製法・機能性素材・飼料・肥料などの新規製品カテゴリー開発に挑戦

2. 販売戦略

- ・経済合理性に照らした製品構成の見直しと適性売価の推進
- ・差別化プロモーションの徹底と販路拡大（海外市場、ヘルスケア市場、インバウンド市場、ペットフード市場、農業資材市場など）

3. 製造戦略

- ・製造ロスの低減（トラブルシューティングの徹底・マニュアル整備・教育訓練・設備保全）
- ・生産性および生産能力の向上（設備投資の積極化、工場機能・生産品目の弾力化）

4. 品質戦略

- ・法令・ガイドライン・社内ルールなどに則った品質コンプライアンス管理の徹底
- ・DX や分析機器類の活用による品質管理体制の充実

5. 人材戦略

- ・人材教育、能力開発、技能・技術継承などの教育機会の拡大
- ・人事評価制度や賃金体系の適宜見直しと人材登用プロセスの深化

6. サステナビリティ戦略

- ・リサイクル原料の活用と当社廃棄物の資源化促進
- ・原材料の多様化およびグローバル調達の実施、価格変動や供給不安などの原材料事情に左右されにくい製品規格基準の設定

(4) 中期経営計画の数値目標

	2025 年 3 月期 (実績)	2026 年 3 月期 (予想)	2028 年 3 月期 (目標)
売上高	6,360 百万円	6,400 百万円	6,700 百万円
営業利益	672 百万円	586 百万円	800 百万円

以 上